

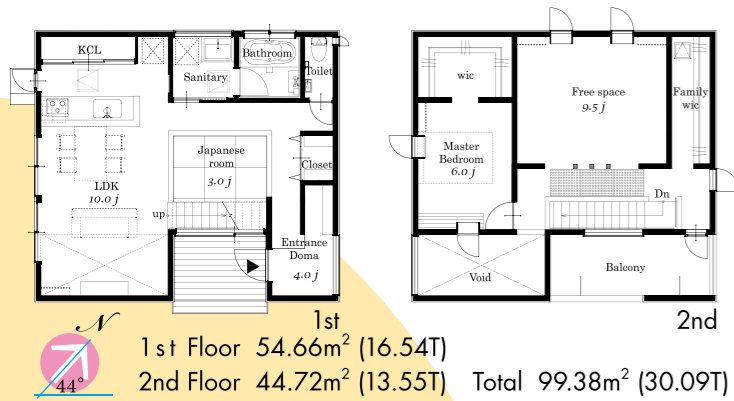


江別のみなさん、こんにちは。
6月です。たくさんのお花が咲き、緑もだんだんと濃さを増してきました。
出掛けるのが、楽しい季節になりましたね。初夏ですが、えぞ梅雨という言葉がある
様に、はじめする時期でもあります。
この時期の湿気は、押し入れ等にカビが生える事も考えられますので、十分な換気を
心掛けたいものです。
家の事で何かお困りの事がありましたら、お気軽にご相談ください。

代表取締役社長 石崎 昭仁

TRETTIO 気になるその商品とは?

地元の工務店は・・・デザインも田舎臭いし、技術もハウスメーカーと比較して・・・と、お思いの方が殆どだと思
います。確かに営業はハウスメーカーさんの様にはいき
ません。しかし技術面は自信があります。



そこで、日頃技術交流を行っているスーパーウォール
ビルダーズファミリーの方々と知恵を出し合い、北海道に
住む皆様に最適な住まいを・・・と、商品化したのが
TRETTIOです。

お客様の大切な資産を守り、快適な生活を送る為
に、必要な要素を取り込み、若い世代の方々に快適
な子育てライフを送って頂ける様に考案されています。

TRETTIOは機能面の他に、大きなポイントがあります。そのポイントとは?

- Point 1) 平成25年省エネ基準をクリアしています。
- Point 2) 耐震等級2を標準としています。(建築基準法の1.25倍の強度)

耐震等級2とは、一般の住宅(建築確認申請基準の強さ)と比較して1.25倍の強さを有して
います。数百年に一度発生する地震に対して、倒壊、崩壊しない程度の強さと位
置付けされています。



TRETTIO 耐震性能の地震の大きさイメージは?

耐震等級1 400ガル程度 (建築基準法で耐震等級1が義務付けられています。)

震度5強程度の地震では損傷せず、震度6弱から7の地震でも倒壊しない建物。
震度6強から7程度という東日本大震災、阪神淡路大震災の揺れに相当す
ると言われています。

耐震等級2 500ガル程度

等級1で想定する地震の1.25倍に耐えられる建物。
震度6弱まで無傷。震度6弱～7でも倒壊はしない。

耐震等級3 600ガル程度

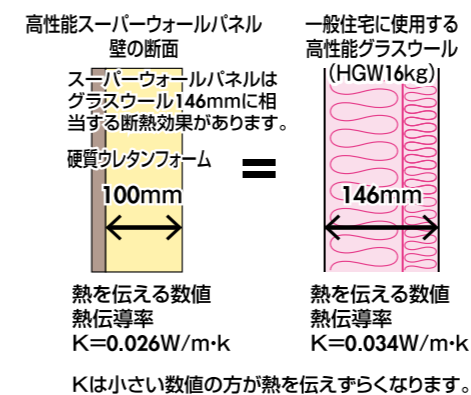
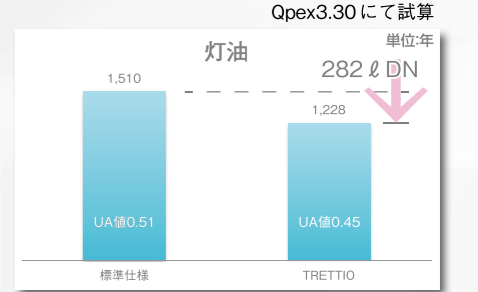
等級1で想定する地震の1.5倍に耐えられる建物。
震度6強まで無傷。震度6強～7でも倒壊はしない。と、されています。
地震の規模等、詳細はHPに記載していますので是非ご参考にしてください。

この様にTRETTIOは構造から見直し、具体的な数値でお客様にご説明できる仕様になっています。
それでは次に、一番気になる暖房に関する性能についてご説明致します。

TRETTIO 気になる Technical Data 暖房費用編

一般的な住宅と(弊社標準仕様UA値0.51)の住宅と、TRETTIO仕様の住宅とランニングコスト比較をしてみ
ました。ランニングコストと言えば、暖房費用ですね!。暖房費用について検証してみました。

断熱の仕様(断熱材の種類・厚さ)により、暖房ランニングコストが変わ
ります。あくまでシミュレーションの結果ですが、TRETTIOの仕様(UA値
0.45)だと年間で282ℓの灯油が削減されます。これを35年間で計算す
ると9870ℓの削減につながります。暖房コストはわずかな違いですが、
35年分となるとかなりの費用になります。年間282ℓの差がどの様にし
て生まれるか?について、少しご説明したいと思います。



ここからは、うんちくの世界になります。・・・ご興味の無い方も少しおつき
あいください。

テレビCMで、『♪な～ん～で～お家を建てる時断熱材、考えないの～♪』
と言う、旭ファイバーグラスさんのCMがあります。そうです、そこなんです。

ひと昔前までは、断熱材はグラスウールという材料しかありませんでした。
それも密度といわれる種類も一種類。

選択肢は厚さだけでした。しかし厚さ
と言っても柱の太さが3寸5分
(105mm)で、これもまた選

択肢がありませんでした。そんな訳で住宅の断熱性能はこの建設会
社さんが建てても一緒だった訳です。

約25年前まではそういう時代でした。しかし現在は色々な断熱材を
使用し、個々の建設会社さんのカラーが出る様になり
ました。地球温暖化防止等、環境に配慮す
る様になり、さらにグラスウールも高性
能化が進みました。そこで柱の寸法
をかえずに、より高断熱な住まいを作ると
なると、より熱が逃げづらい材料の採用が不可欠になりました。そこで登場し
たのが、スーパーウォールという住宅の建築工法です。

SW T100-H



断熱材はグラスウールの約1.5倍の断熱性能を持つ硬質ウレタンフォームを
採用し、従来のGW146mm相当の断熱効果を得ました。家全体の熱の逃げる
割合は天井壁で約8割を占めます。この部分を高断熱化する事により、暖房消費
量を削減できると私たちは考えました。この様な断熱材の変更により年間282ℓと
いう暖房削減効果が生まれた訳です。

TRETTIOはテクニカル(技術的)な部分、基本性能は十分ご満足頂ける仕様になっています。是非TRETTIOを
住まい作りのご検討の候補に入れてみませんか?。詳細は弊社までお問い合わせください。

次回号は支払いetcと題して、住宅ローンの組み方による総支払い額を含めた、生涯コストについてお伝えしたいと
思います。是非ご期待ください。

